

車の手入れと経済運転のコツ

車の手入れ	174
車を美しく保つには	174
リヤ・シートの取りはずしかた	177
バッテリーの手入れ	177
点火プラグの交換	179
パワー・ステアリング液の点検・補給	179
燃料・水分離器	180
ムダなく運転するコツ	181
寒冷地での取り扱い	183



車の手入れ

■車を美しく保つには

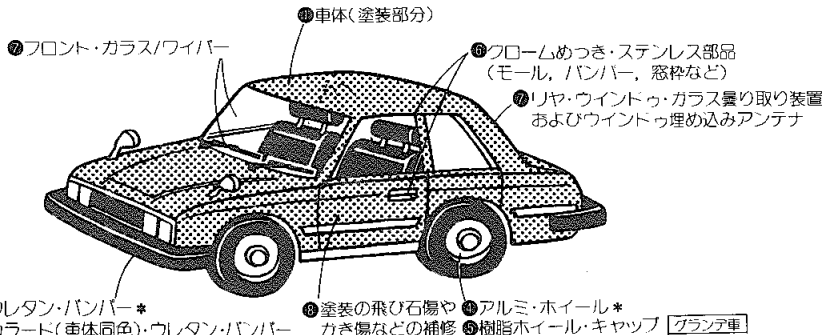
車をいつまでも美しく保つためには、日頃の手入れが必要です。

1. 次のような場合は必ず洗車してください。

- 海岸地帯を走行したとき。
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき。
- コールタール、ばい煙、油煙、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき。
- ほこり、泥などで著しくよごれたとき。

2. 次のような場所に長時間駐車しますと、塗装の劣化や、車体、部品の腐食などを早める原因となります。十分注意してください。

- 海岸
- ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所。
- 化学物質を排出する工場周辺。



● 樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所。

⑩車体（塗装部分）の手入れ

車体のほこりは柔らかい布か毛ばたきで取ってください。

▶洗車方法

★エンジン・ルーム内の電気部品に水をかけないように注意してください。エンジン始動不良の原因となります。

★下回りを洗うときは、ゴム手袋などを着用してください。手にケガをするおそれがあります。

1. 車体の下回り、足回りを洗います。
2. 十分水をかけながら、スポンジかセーム皮（鹿のなめし皮）でよごれを洗い落とします。
3. よごれのひどいときは、カー・シャンプーを使用します。

★カー・シャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。

★自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がつき塗装の光沢が失なわれたり、劣化を早めることがあります。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

無断複製禁止

4. 塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。

▶ワックスがけ

ワックスの中にコンパウンド（みがき粉）がはいっていないものをご使用ください。

1. 1か月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。
2. 洗車後、車体の温度が体温以下のときに行なってください。
3. ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。
オートワックス・フレッシュ
オートワックス・シルバー
オートワックス・ゴールド
オートワックス・メタリック
（メタリック塗装用）
4. 上記のワックスを使用しても、よごれがひどく落ちにくいときは、次のトヨタ純正品をお使いください。
オートワックス・ホワイト&クリーン
オートワックス・スピーディー
ただし、ワックスの中に微粒なコ

ンパウンド（みがき粉）がはいっていますのでよごれ落ちはよくなりますが、塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失なわれる原因になります。できる限り3.のワックスを使用してください。

②ウレタン・バンパーの手入れ

1. 車体と同じく洗車したあと次の専用ワックスでワックスがけをします。
オートワックス・ブラック（ウレタン・バンパー用）
2. たわしなどの固い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
3. 塗装用ワックスや泥が付着すると、ウレタンの目地にはいり白くなることがあります。この場合は、水で洗い落とした後、専用の黒色ワックスを塗布してください。

★コンパウンド入りワックスや、液状ワックスは使用しないでください。

★エンジン・オイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなど

の原因となります。十分注意してください。

③カラード（車体同色）・ウレタン・バンパーの手入れ

1. 車体と同じく、洗車したあと車体と同じワックスでワックスがけをします。
2. たわしなどの固い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮やスポンジなどをご使用ください。

④ アルミ・ホイールの手入れ

★泥の付着、海水、凍結防止剤などにより汚染されると、腐食するおそれがありますので、付着させたままにせず、なるべく早く洗い落としてください。

1. ホイールを洗うときは、中性洗剤を使用してください。
 2. ワイヤー・ブラシなど硬い物を使用して洗うと、ホイール面に傷がつきます。セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
 3. 洗車後は十分水洗いをし、ワックスがけを行なってください。ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。
トヨタ・アルミ・ポリッシュ
 4. 錆などを取り除くときは、次のトヨタ純正品をお使いください。
トヨタ・アルミ・クリーナー
- ★アルミ・クリーナーは研磨用ワックスですので、錆などを取り除くときだけに限定してご使用ください。

⑤ 樹脂ホイール・キャップの手入れ

グラデ車

セーム皮、スポンジなどで十分水をかけながら洗ってください。たわしや、自動洗車機の硬いブラシを使用すると塗色部に傷がつきます。

★市販のピッチ・クリーナーなどが樹脂部分に付着すると、破損の原因となりますので、十分注意してください。

⑥ クロームめっき、ステンレス部品

(モール、バンパー、窓枠、ドア・サッシなど)の手入れ

1. 車体と同じく、洗車したあとワックスがけをします。
2. しみなどは、次のトヨタ純正ポリッシュ (みがき粉入りワックス) またはコンパウンドを使用して除去してください。
トヨタ・ポリッシュ・コンパウンド
トヨタ・クローム・ポリッシュ

⑦ ウィンドウ・ガラスについて

ワイパーのふきが悪くなった場合は、ガラス・クリーナーで清掃してください。なお、ワイパー・ゴムが古くなっている場合も同様にふきが悪くなりますので最寄りのトヨタ・サービス工場でお交換してください。

★ 曇り取り装置付きのリア・ウィンドウ・ガラス(室内側)の清掃は、断線を防止するため、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどを使用すると、リア・ウィンドウ・ガラス曇り取り装置が作動しなくなるおそれがあります。

⑧ 塗装の飛び石傷やかき傷などの補修
これらの傷は腐食の原因となります。見つけたら早目に補修してください。

■ リヤ・シートの取りはずしかた

セダン/ハードトップ

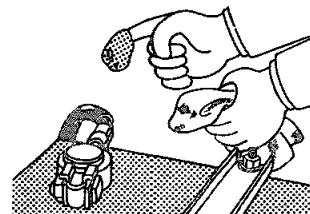
シート・カバーの取り付けなどでリヤ・シートを取りはずすときは、シートの足元にあるレバー(2箇所)を引き、シート前部を持ち上げてください。



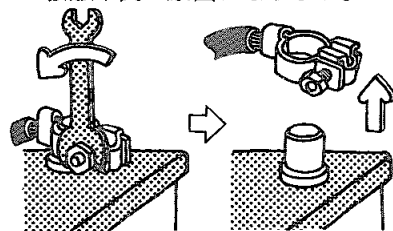
レバーを引かずにシートを持ち上げると、シート固定具を損傷するおそれがあります。

■ バッテリーの手入れ

▶ 端子の手入れ

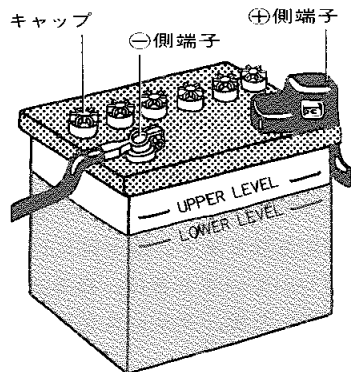


1. 端子のゆるみ腐食は接触不良の原因にもなります。端子部に白い粉がついているときは、ぬるま湯で清掃した後、グリースを塗ってください。
2. 万一、コード側端子をはずすときは、締め付けナットを十分ゆるめまっすぐ引き上げてください。コード側端子を斜めに引き上げるとバッテリー側端子を削ってしまい接触不良の原因になります。



▶ バッテリー液の補給

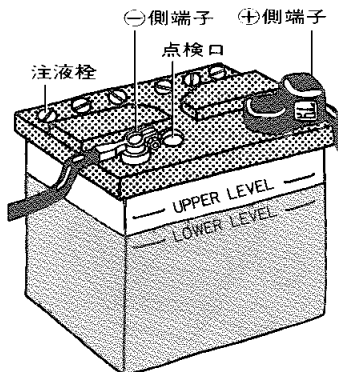
〈標準バッテリー〉



1. 液面が、UPPER LEVEL (上限) と LOWER LEVEL (下限) の間にあればよく、少ないときは UPPER LEVEL まで蒸留水を補給してください。

★蒸留水は UPPER LEVEL 以上補給しないでください。

〈メンテナンス・フリー・バッテリー〉



バッテリー液の補給期間を延長した高性能バッテリーです。

1. バッテリー上面に取り付けられた点検口で、液量の低下と充電状態を点検します。
2. 注液栓はコインまたは大型ドライバーであけることができます。

★蒸留水は UPPER LEVEL 以上補給しないでください。



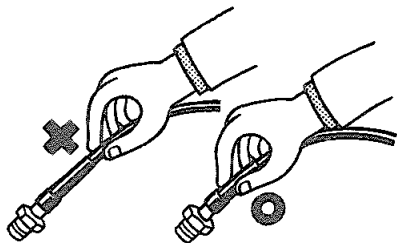
1. バッテリーはショートをさせたり、タバコの火などの火気を近づけないようにしてください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
2. バッテリー液が目や皮膚につくと、その部分がおかされますので十分注意してください。目にはいったときはすぐ多量の水で洗い、医師の治療を受けてください。
3. 充電するときはすべてのキャップをはずし、(メンテナンス・フリー・バッテリーは注液栓を確実にしめ) 通気の良いところで行なってください。
4. バッテリー液をこぼした場合にはその付近を十分に水洗いしてください。

■ 点火プラグの交換

ガソリン車

★IG-GEU エンジンとう載車は白金プラグを使用していますので、プラグの点検・調整は不要です。10万km走行ごとに交換してください。また一般のプラグは定期点検の結果にもとづき交換します。

1. プラグ・コードのキャップ部を持ってコードを取りはずします。



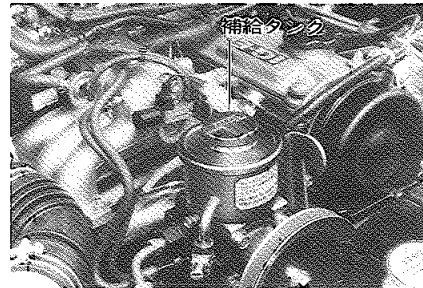
★コードの中間を持って引っ張ると、芯線が断線するおそれがあります。

2. 指定のプラグと交換します。

エンジン型式	点 火 プ ラ グ 型 式
13T-J	W16ET-S, BP5EKA
1S-U	W16EXR-U11, BPR5EY11
1G-EU	J16BR-U, BPE529Y
M-TEU	W20EXR-U, BPR6EY
1G-GEU	PQ20R, BCPR6EP11

3. プラグにコードを確実に取り付けます。

■ パワー・ステアリング液の点検・補給*



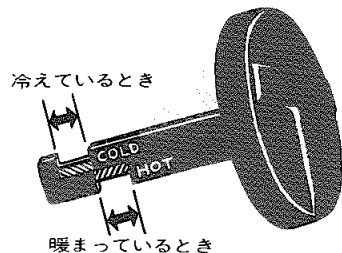
液量を 5,000 km 走行ごとに、補給タンクのゲージで下記の順序にしたがって調べてください。

1. 車を水平な場所に置き、駐車ブレーキをかけます。
2. キャップを左に回してはずしゲージ部分を布などできれいにふき、再びもどしてから点検します。

★走行直後は、液が高温になっているため、手などが触れると火傷をするおそれがあります。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

3. 液が冷えているときはCOLD側の斜線部の範囲内に、暖まっているときはHOT側の斜線部の範囲内にあるか調べます。



【参考】

COLD：約20°C。エンジン停止後、しばらく放置したときの液温がこれに相当します。

HOT：約70°C。高速走行後の液温がこれに相当します。

4. 液不足のまま走行すると、異音が発生したりするなど不具合の原因になるおそれがあります。

不足している場合は、トヨタ純正キャスル・パワー・ステアリング・フルードを規定量まで補給してください。

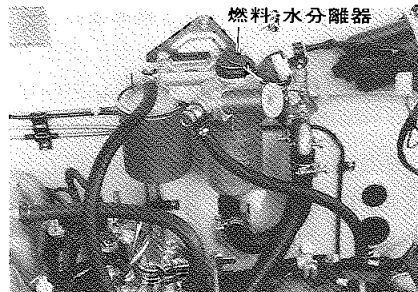
★補給は、必ず規定量にしてください。

入れすぎると液漏れになります。

★点検および補給後は、キャップを確実に締め、こぼれた液は必ずふき取ってください。

燃料・水分離器

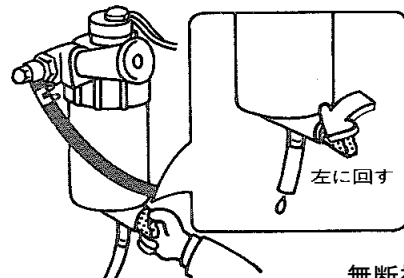
ディーゼル車



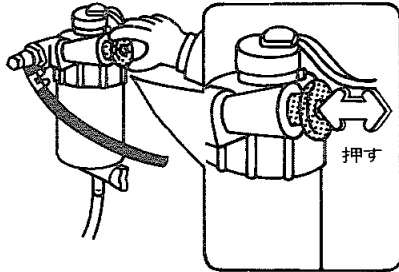
燃料中に含まれる水を分離する装置です。規定量以上水がたまると、エンジンに水がはいり、エンジンを損傷するおそれがあります。燃料・水分離器水位警告灯が点灯したら、ただちに下記の手順で排水を行なってください。

▶排水方法

1. 排出栓を左に回します。



2. 手動ポンプを左に回して引き、前後に動かしてフロート(浮子)がフィルターに着くまで水を抜きます。



3. 排水処理が完了したら、排出栓および手動ポンプを確実に締め付けてください。

- ★エンジンを停止してから行なってください。
 - ★排出栓および手動ポンプを締め付けるとき、工具は使用しないでください。
 - ★排出栓の下に受け皿を置き、軽油が飛散しないようにしてください。
- また、周囲に付着した軽油はきれいにふき取ってください。

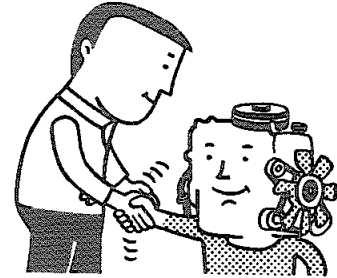
ムダなく運転するコツ

■暖機運転は、長すぎると不経済



水温計の指針が動き出すまで(40~50℃)になればOKです。
(30ページの「エンジンのかけかた」の項目を参照してください。)

■エンジンをいたわる気持ちが、長持ちの秘訣

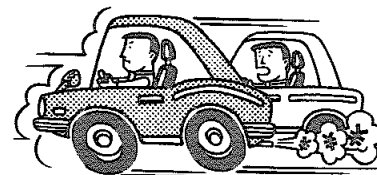


1. (新車時は特に)控え目な運転をしてください。
2. エンジンをオーバーラン(限界回転数超過)させないために、各チェンジ・レバーの位置での速度が次ページの表の数値を越えないように運転してください。

★高速走行時、ギヤを一段下に落とすときはオーバーランに注意してください。

(単位：km/h)

■ 不必要な高速運転は燃料のムダ使い

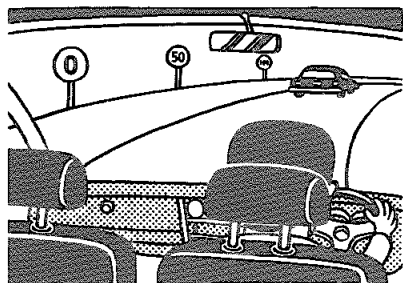


100km/h走行時の燃費は、40km/h走行時の約1.5～1.7倍よけいに多くかかります。

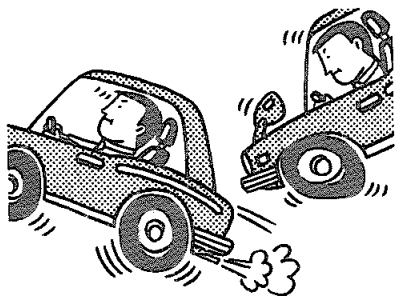
高速道路は80km/h程度で走るのが経済走行といえます。

排気量	エンジン型式	トランスミッション型式	1速	2速	3速	4速
2000	1G-EU	5速マニュアル・トランスミッション	45	80	120	155
		2ウェイ・オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	60	105	150	
	1G-GEU	5速マニュアル・トランスミッション	50	85	125	175
		ECT (電子制御式4速オートマチック・トランスミッション)	65	115	170	
	M-TEU	オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	55	100	145	
	1800	1S-U	5速マニュアル・トランスミッション	45	80	120
オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション			55	100	145	
13T-J		4速マニュアル・トランスミッション	40	70	105	
		3速オートマチック・トランスミッション	55	100		
2200	L (ディーゼル)	5速マニュアル・トランスミッション	30	55	85	115
		オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	45	75	110	
2400	2L-TE (ディーゼル)	オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	45	80	115	

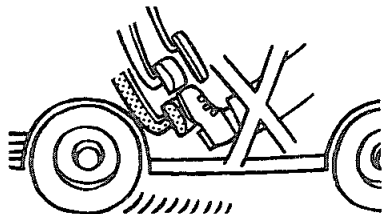
■車間距離はゆったりとって、安全プラス経済運転



■急発進、急ブレーキは危険をとまな
い不経済



■クラッチの適正で確実な操作は、車を長持ちさせる秘訣

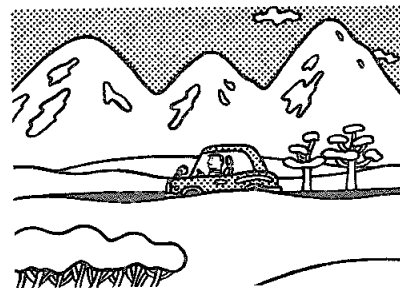


1. ギヤを入れるときは、クラッチ・ペダルを十分踏み込んでから行なってください。
中途半端な踏みかたですと、クラッチはもちろんトランスミッションのギヤなども痛めることになります。
2. 走行中は、クラッチ・ペダルに足を乗せないようにしてください。

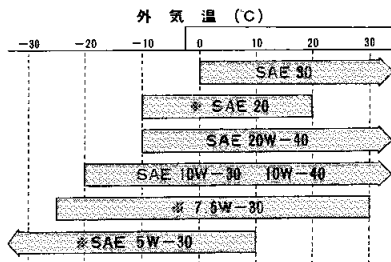
寒冷地での 取り扱い

この項目での寒冷地とは、北海道全域および東北、北陸の積雪地帯および、その他の地域を含めた山岳地、スキー場などの局地的な厳寒地区、多雪地区を対象としておりますが、その他の地域においても、冬期の取り扱いの参考としてください。

■安全なウインター・ドライブをする
ために



1. タイヤ・チェーンの準備
2. スノー・タイヤの装着
スノー・タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。
3. 不凍液の濃度の点検をしてください。
4. ウォッシャー液の濃度を50%以上にあげます。
(147ページの「ウォッシャー液の量」の項目を参照してください。)
5. エンジン・オイルの粘度番号は、車の運転条件によって多少異なりますが、外気温によって下表を参考にし使分けしてください。



- ★外気温が0℃以下になる地域ではSAE30を、また20℃以上になる時期にはSAE20を使用しないでください。
★※印のオイルはターボ車には使用できません。

6. 寒冷地では冬がくる前に燃料タンクの水分を排出することをおすすめします。

また、水分除去剤にはトヨタ純正キヤスマック・エース・ウォーターカット（ディーゼル車はキヤスマック・エース・ウォーターカットD）を使用してください。

7. 凍結防止用ワイパー・ゴムの装着必ずトヨタ純正品を使用してください。

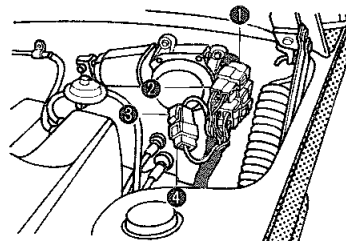
8. ワイパーの切り替え

フル・コン式ワイパーは、フロント・ガラスに多量の雪が積もった場合ワイパーが上がらなくなりワイパー・モーターを損傷するおそれがありますのでワイパー・モーターのコネクターを切り替えてフル・コン式からセミ・コン式にしてご使用ください。

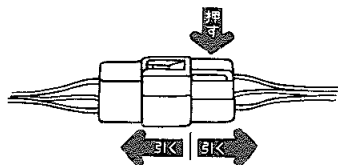
＜切り替え方法＞

エンジン・ルーム左側うしろにあるコネクターの接続を次のように切り替えます。

1. ワイパー・モーター横のコネクター①、②と下側にあるコネクター③、④を切り放します。



コネクターはフック部を押しながら左右に切り放します。



★切り放すときはコードを持って引っ張らないでください。断線するおそれがあります。

2. 1.で切り放したコネクターの①と③、②と④を接続します。

★コネクターを接続したときにカチッと音がしてロックされたことを確認してください。

■走行前の点検

寒冷時には、次の項目を仕業点検のときに実施してください。

1. 車の下をのぞいて、足回りに付着した氷塊を部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。
2. エンジン始動時にアクセル・ペダルやチョークの作動が円滑かどうか確認してください。
3. フロント・ウインドウの氷雪を除去する際には、ワイパー・ゴムがガラスに凍結していないか確認してください。

■エンジンの冷えすぎを防ぐには

1. 気温に応じてラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンを適温に保つのに効果があります。
2. 駐車するときは、ボンネット側を風下にしてください。

■ドアの凍結時の処置

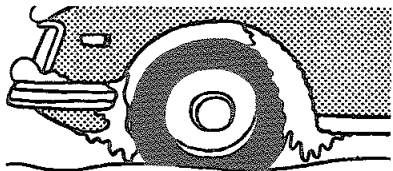
ドアが凍結した場合は無理にあげようとするとドアまわりのゴムがはがれたり、き裂するおそれがありますので、湯をかけて氷を溶かしてください。なお、後で水分を十分ふき取ってください。

■ターボ車はエンジン始動直後に、エンジンの急激な空ふかしまたは急加速をしないでください。

ターボ機能を損うおそれがあります。

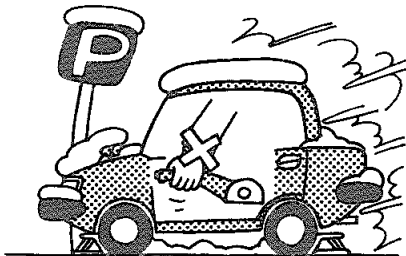
■雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し次第にたい積して、ハンドルのきれが悪くなる場合があります。

ときどき異常のないことを確認してください。



■アクセル・ペダル凍結防止のため、乗車時、靴に付着した雪をよく落としてください。

■凍結するおそれのある場合の駐車は寒冷時は駐車ブレーキをかけておくとブレーキ装置が凍結するおそれがありますので、駐車ブレーキをかけないでください。

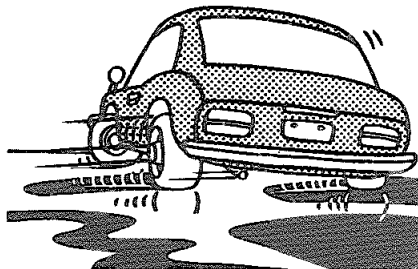


1. チェンジ・レバーの位置をマニュアル・トランスミッション車はロー(1速)またはリバース(後退), オートマチック・トランスミッション車はPにします。
2. 車が絶対に動くことのないように輪止め(とう載工具の中に含まれています)をしてください。

■深い雪道を走行した後に駐車したときや、吹雪の中に駐車したときは、ブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

走行を再開したら、できるだけ早く、前後の車や道路状況に注意してブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪い場合は、ブレーキ・ペダルを踏んで、効きが回復するまで低速で走行してください。

■ぬれた路面、氷雪路面、凍結路面ではスリップに注意



控え目な速度で走り、氷雪路面、凍結路面では、スノー・タイヤ、タイヤ・チェーンを装着してください。地域によっては、条例などで使用が義務づけられていますので、冬がくる前に準備しておいてください。

■ディーゼル車の使用燃料について
軽油は外気温が -10°C 以下になると凍結し、燃料配管の詰まりなどの不具合原因となります。

寒冷地へ行くときは、現地へ着くまでに残量を半分（燃料計日盛の $\frac{1}{2}$ 以下）にしておき、現地に着いたら下表にしたがってできるだけ早く寒冷地用燃料を補給してください。



フェリーを利用して寒冷地へ行くときは、乗船前に燃料を半分にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用限度温度	使用燃料		
	JIS 2号 軽油	JIS 3号 軽油	JIS特3号 軽油
-10°C	○	/	/
※ -14.5°C	○	○	/
-19°C	/	○	/
※ -22°C	/	○	○
-25°C	/	/	○

※は、それぞれの燃料を同じ割合に混合した場合を示します。

- ※1 1G-EU車のみ注文装備
- ※2 1G-GEU車を除く
- ※3 M-TEU車のみ
- ※4 M-TEU車を除く

- ※5 1G-GEU車のみ
- ※6 サン・ルーフ付き車を除く
- ※7 サン・ルーフ付き車のみ

グレード	フロント・スポット・ライト		ボックス コンソール・ セミ・コン	フル・コン(フロア・チェンジ車)	パニティ・ミラー	クルーズ・コンピュータ(フロア・チェンジ車)	電磁式ドア施錠装置	電磁式オート・ドア施錠装置	電動 ウインドウ	ドア・キー作動 ワンタッチ式	燃料補給口オーブナー	トランク灯	トランク・オーブナー	サン・ルーフ	ラジオ					ステレオ カセット・				録音機構なし	録音機構付き	エア・コンディショナー	オート・エア・コンディショナー	ハロゲン・ランプ(前照灯)	ウレタン・バンパー	アルミ・ホイール	パワー・ステアリング
	63	66	67	69	79	80	80	82	83	84	84	86	90	92	92	94	96	99	106	107	109	112	111	115	121	123	172	175	175	179	
ガソリン	STD	●												△											△						
	DX		●								●	●							△	△	△				△						
	GL			●							●	●	●						△	△	△								△		
	GR			●							●	●	●						△	△	△				△		●		●		
	LE			●							●	●	●		●				△	△	△				△	△		●	◎		
	LG	●	●	●		●		●			●	●	●				●			△				△	△		●		●		
	LGツーリング グランデ	● ^{※7}	●	●		●		●			●	●	●	△			△	△		△			● ^{※2} ● ^{※4}	● ^{※1}	△	△	●	●	●	△	●
ディーゼル	DX		●								●	●		●					△	△	△			△			●				
	GL			●							●	●	●		●				△	△	△			△			●		△		
	GLエクストラ			●	●		●		●		●	●	●		●				△	△	△			△			●		●		
	LE			●							●	●	●		●				△	△	△			△	△		●		◎		
LEエクストラ			●	●		●		●		●	●	●		●				△	△	△			△	△		●		●			

※1 1G-EU車のみ注文装備
 ※2 1G-GEU車を除く
 ※3 M-TEU車のみ

※4 M-TEU車を除く
 ※5 1G-GEU車のみ

装 備 品	グレード																												
	63	66	67	69	79	80	80	82	83	84	84	92	92	94	96	99	106	107	109	111	112	115	121	123	172	175	175	179	
説明ページ	63	66	67	69	79	80	80	82	83	84	84	92	92	94	96	99	106	107	109	111	112	115	121	123	172	175	175	179	
GL		●							●	●	●	●					△	△	△				△		●	●		△	
GR		●							●	●	●		●				△	△	△				△		●	●		●	
LE		●							●	●	●	●					△	△	△				△	△	●	●		◎	
LG	●	●	●		●		●		●	●	●			●							△		△	△	●	●		●	
LGツーリング		●							●	●				△							△		△	△	●	●		△	△
グラ ン デ	●	●	●	※4 △		●	●	●	●	●	●			●	△	△				●	●	●	△		●	●	●	△	●

整備基準値

各部調整値

点検項目		1800		2000			2200	2400
		13T-J	1S-U	1G-EU	M-TEU	1G-GEU	L(ディーゼル)	2L-TE(ディーゼル)
Vベルトのたわみ量 [押す力10kg] (mm)	ファン・ベルト	8~13	13~20	14~21	10~16	13~20	10~15	10~15
	パワー・ステアリング・ベルト	/	8~12	17~24	7~11	7~10	10~15	10~15
点火プラグの電極すき間 (mm)		0.9~1.2	1.0~1.3	0.7~1.0	0.7~1.0	1.0~1.4 (注1)	/	/
アイドル回転数 (rpm)	マニュアル・ トランスミッション車	550~700	550~650	650~750	/	600~700	750~850	/
	オートマチック・ トランスミッション車	700~850	700~800	650~750	750~850	600~700	750~850	650~750
ブレーキ・ペダル (mm)	遊 び	3~6						
	踏 み 残 り 代	70以上		65 (注2)			70以上	
クラッチ・ペダルの遊び (mm)		5~15	13~23	5~15	/	5~15	/	/
ハンドルの遊び (mm)		0~30						
タイヤ残りみぞの深さ (mm)		1.6以上(注3)						

(注1) 1G-GEU車は白金プラグを使用していますので点検・調整の必要はありません。

(注2) リヤ・ドラム車は70mm以上

(注3) バンは高速走行時(80km/h以上)の場合2.4km以上

<各部容量>

▶ エンジン (エンジン・オイル)

排気量	エンジン型式	オイルのみ交換時	オイルと フィルター交換時
1800	13T-J	3.3 (ℓ)	3.8 (ℓ)
	1S-U	3.6	3.8
2000	1G-EU	3.7	4.3
	M-TEU	5.0	5.5
	1G-GEU	3.7	4.3
2200	L	4.8	5.8
2400	2L-TE	4.8	5.8

▶ マニュアル・トランスミッション(ギヤ・オイル)… 2.4ℓ

▶ オートマチック・トランスミッション (オイル)

13T-J, 1S-U…………… 6.3ℓ

1G-EU, M-TEU, 1G-GEU, L, 2L-TE… 6.5ℓ

▶ ディファレンシャル (ハイポイド・ギヤ・オイル)

(L.S.D.付き車は、キヤッスル・ハイポイド・ギヤ・オイルLSD使用)

車軸けん架車…………… 1.4ℓ

独立けん架車

1G-EU車のオートマチック・

トランスミッション車…………… 1.0ℓ

1G-EU車のオートマチック・

トランスミッション車を除く…………… 1.2ℓ

▶ ステアリング・ギヤ・ボックス(ギヤ・オイル)… 0.4ℓ

▶ 冷却水

13T-J…………… 8.0ℓ

1S-U…………… 7.5ℓ

1G-EU…………… 7.6ℓ

M-TEU…………… 11.0ℓ

1G-GEU…………… 7.6ℓ

L…………… 10.3ℓ

2L-TE…………… 10.3ℓ

▶ 燃料タンク

セダン/ハードトップ/ワゴン…………… 65ℓ

バン…………… 61ℓ

▶ パワー・ステアリング(液)…………… 0.8ℓ

INDEX

索引

ア

アイドル調整ツマミ	31
アルミ・ホイール	
取りはずし	159
手入れ	176
アンテナ	90

イ

ECT（電子制御式4速オートマチック・ トランスミッション）	39
イルミネータッド・エントリー・システム （エンジン・キー照明）	62
インストルメント・パネル （計器盤）	6
イグニッション・スイッチ （エンジン・スイッチ）	28

ウ

ウインドウ・ガラス	
電動ウインドウ	80
手入れ	177
ウォッシャー	
フロント用スイッチ	23
リヤ用スイッチ	25
タンク	25
点検・補給	147
ウレタン・バンパーの手入れ	175
運転方法	30, 133, 181

エ

エア・コンディショナー	
通常の冷房	122
早く冷房したいとき	122
ガラスの曇りを取るとき(除湿)	123
点検	121
エレクトロニック・ディスプレイ・メーター （デジタル式メーター）	8
エンジン・オイル	
点検	145
使用オイル	139, 145, 184
オイル量	145, 194
エンジン回転計	11
エンジン・キー	28, 134, 163
エンジン・キーが回らないとき	29
エンジン・キー照明	62
エンジンのかけかた	
エンジンが冷えているとき	30
エンジンが暖まっているとき	30
ディーゼル車	31
EF1付き車	30
ターボ車	30
エンジンの止めかた	32
エンジン・スイッチ	28, 134
エンジンをしたら	163
エンジン・フード(ボンネット)	82
エンジン・ルーム	137, 144
エンジン・ブレーキ	35, 135
エンジン・ヒーター	33
エンジン警告灯	19

オ

オイル	
エンジン	139, 145, 184, 194
トランスミッション	146, 194
ブレーキ	139, 145
クラッチ	139, 145
パワー・ステアリング	179, 194
オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ （油圧警告灯）	15
応急用タイヤ （タイヤ参照）	155
オート・エア・コンディショナーの 使い方	123

オートマチック・トランスミッション 運転方法	35, 38, 135, 164
点検・補給	146
オイル量	146, 194
けん引	166
オート・ドア・ロック （電磁式オート・ドア錠装置）	80
オート・ドライブ(自動定速走行装置) 働き	46
使い方	46, 47
オドメーター(積算距離計)	10
オーバー・ヒートの処置	166
オーバー・ヒート警告灯	14
オーバーラン(限界回転数超過)	181
オーバードライブ(4速オートマチック・ トランスミッション) 働き	38
使い方	38

カ

カセット・ステレオの使い方	103
カセット・テープの取り扱い	103
寒冷地での運転	183
カフフード(車体同色) ウレタン・バンパーの手入れ	175
外装の手入れ	174
ガソリン(燃料)	137
ガソリン・タンク(燃料タンク)	11, 83, 194

キ

緊急時の取り扱い （故障したら参照）	
キャッスル製品	139

ク

区間距離計	11
クラッチ	
点検	145
液	145

グラフィック・イコライザーの使い方… 115
 フルース・コンピューター
 (走行情報表示装置)
 働き……………69
 使い方……………70
 グローブ・ボックス(小物入れ)の
 施錠・解錠……………65
 グロー・ランプ(予熱表示灯)……………20, 31

ケ

計器照度調整……………27
 計器盤……………6
 軽油……………137, 187
 化粧ミラー……………67
 けん引
 ロープをかける位置……………166
 注意事項……………167
 オートマチック・
 トランスミッション車……………167

コ

高速運転……………136, 142, 182
 工具の格納場所……………155
 故障したら
 エンスト……………163
 オーバー・ヒート……………166
 連絡先……………162
 バッテリーあがり……………165
 バンク……………155
 コラム・シフト(チェンジ・レバー)……………38
 コンソール・ボックス(小物入れ)……………66

サ

サイド・サポート・アジャスタ
 (シート参照)
 サン・ルーフ
 電動での開閉……………86
 手動での開閉……………87
 サークिट・ブレーカー……………169

シ

シート
 前後位置調整……………50
 リクライニング調整……………50
 パーチカル・アジャスタ……………51
 サイド・サポート・アジャスタ……………51
 ランパー・サポート……………52
 ヒーター付きシート……………53
 シート・ヘルト
 装着方法……………57, 136
 取りはずし……………58
 手入れ……………60
 室内灯……………63
 作業点検
 点検項目……………142
 点検方法……………144
 シカレット・ライター……………64
 シフト・レバー(チェンジ・レバー)……………34
 車種一覧表……………2
 触媒装置……………16, 133
 充電警告灯……………14
 ジャッキ
 格納場所……………153
 ジャッキ・セット位置……………154
 純正部品, 製品……………4, 139
 樹脂ホイール・キャップ
 取りはずし……………158
 手入れ……………176
 チェーン装着時……………161
 自動防眩式ルーム・ミラー
 (ミラー参照)

ス

水温計……………13
 ステレオ(ラジオ, カセット・ステレオ)
 ………………90, 99, 102, 106
 ステアリング・ホイール(ハンドル参照)
 スパーク・プラグ(点火プラグ)……………179
 スピードメーター(速度計)……………40
 スペア・タイヤ
 格納場所……………155
 交換方法……………156

スポット・ライト
 フロント……………63
 リヤ……………63

セ

整備基準値……………193
 積算距離計……………10
 積雪時……………183, 185, 187
 背もたれポケット……………67
 洗車……………174
 前照灯
 点灯・消灯……………22
 上下切り替え……………22
 追い越し合図……………22
 ハロゲン・ランプ……………172
 前照灯の上向き表示灯……………19
 前照灯クリーナーの使い方……………24

ソ

装備品……………188
 速度計……………10

タ

タイミング・ヘルト交換警告灯……………20
 タイヤ
 空気圧……………151
 みその深さ……………152
 指定サイズ……………151
 スペア・タイヤ……………155
 応急用タイヤ……………155
 交換方法……………156
 タイヤ・チエーン
 装着方法……………160
 取りはずし……………162
 タコメーター(エンジン回転計)……………10, 11
 ターボ
 計器……………7
 運転方法……………30, 137
 エンジン・オイル……………138

ターン・シグナル・インジケーター・ランプ (方向指示灯表示灯)……………19
ターン・シグナル・レバー (方向指示レバー)……………23
暖機運転……………30, 133, 181
断線警告灯……………17

チ

チェンジ・レバー
ハンドル・チェンジ……………38
フロア・チェンジ……………34
オートマチック・ トランスミッション……………35
チャイルド・プロテクター(安全施錠装置)
働き……………78
使い方……………79
チャージ・ウオーニング・ランプ (充電警告灯)……………14
駐車ブレーキ
使い方……………42
点検……………150
駐車灯スイッチ……………28
駐停車……………43, 132, 186
チルト・ステアリング (上下調整式ハンドル)……………43

ツ

ツール(工具)……………153
2ウェイ・オーバードライブ付き4速オート マチック・トランスミッション……………39

テ

手入れ
洗車……………174
ワックスがけ……………175
補修……………176
定期点検……………4
テンバラチャ・ゲージ(水温計)……………13

点火プラグ
プラグ・コードの取り扱い……………179
交換……………179
ディーゼル
エンジンのかげかた……………31
警告灯……………20
燃料……………137, 187
デジタル式メーター……………8
電球……………172
電磁式ドア施錠装置……………79
電磁式バック・ドア施錠装置……………85
電磁式ドア・ロック (電磁式ドア施錠装置)……………79
電動フエンダー・ミラー……………46
電動ウインドウ……………80

ト

凍結時の処置……………186, 187
時計……………61
トランク……………84
トランク灯……………84
トリップ・メーター(区間距離計)……………11
トルコン(オートマチック・トランスミッ ション参照)
ドア
施錠・解錠……………77
電磁式ドア施錠装置……………79
ドア・ガラス(ウインドウ・ガラス参照)
ドア・ポケット……………66

ナ

ナンバー・プレート・ランプ(番号灯)……………172

ニ

荷室の作り方……………55

ネ

燃料……………137, 187, 194
燃料計……………11
燃料タンク
容量……………11, 194
補給……………83, 137
燃料タンク・キャップ……………83
燃料・水分離器水位警告灯……………20, 180

ハ

排気ガス……………132, 152
排気温警告灯……………16, 134, 149
灰皿……………60, 137
ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ (前照灯の上向き表示灯)……………19
発炎筒(保安炎筒)……………164
白金プラグ (点火プラグ参照)
ハロゲン・ランプ……………172
半ドア警告灯……………18
ハンドル
上下位置調整……………43
点検……………149
ハンドル・ロック……………29
ハザード・ウオーニング・スイッチ (非常点滅灯スイッチ)……………28
バック・ドア
施錠・解錠……………84
電磁式バック・ドア施錠装置……………85
バック・ドア灯……………63
バッテリー
点検……………177
補給……………178
手入れ……………177
バッテリーあがり……………165
パニティ・ミラー(化粧ミラー)……………67
パーチカル・アジャスタ (シート参照)
パーキング・スイッチ(駐車灯スイッチ)……………28
パーキング・ブレーキ(駐車ブレーキ)……………42
パワー・ウインドウ(電動ウインドウ)……………80
パワー・ステアリング

操作……………134, 167
 点検……………179
 補給……………179
 ベルトのたわみ量……………148, 193
 バック……………155
 バンパーの手入れ……………175
 番組予約……………104
 バック・ミラー(ミラー)……………43, 44

ヒ

ヒーター
 通常の暖房……………118
 ガラスの曇りを取る時……………119
 頭寒足熱型にしたい時……………119
 換気したい時……………120
 早く暖房したい時……………120
 吹き出し口……………116
 ヒーター付きフロント・シート……………53
 ヒート・ゲージ(水温計)……………13
 ヒューズ
 取り付け位置……………167
 容量・受け持ち回路……………170, 171
 予備ヒューズ……………168
 交換方法……………168
 非常点滅灯スイッチ……………28
 非常点滅灯表示灯……………19

フ

ファン・ベルト(Vベルト参照)……………27
 フォグ・ランプ……………27
 不凍液(冷却水参照)
 フューエル(燃料参照)
 フューエル・ウォーニング・ランプ
 (燃料残量警告灯)……………12
 フューエル・ゲージ(燃料量)……………11
 フューエル・タンク(燃料タンク参照)
 フロア・シフト(チェンジ・レバー)……………34
 フロント・シート
 前後位置調整……………50
 リクライニング調整……………50
 ランパー・サポート……………52

バーチカル・アジャスタ……………51
 サイド・サポート・アジャスタ……………51
 ヘッド・レスト……………53
 ヒーター付きシート……………53
 フロント・ルーム・ランプ
 (スポット・ライト)……………63
 Vベルト
 たわみ量……………148, 193
 点検位置……………148
 フレーキ
 効き……………136, 163, 186
 ペダルの点検……………149
 液の点検……………138, 145
 補給……………138, 145
 フレーキ・ウォーニング・ランプ
 (ブレーキ警告灯)……………17
 フレーキ警告灯……………17
 ブラグ(点火プラグ)……………175
 冬(寒冷地での運転, タイヤ・チェーン参照)

ヘ

ヘッド・ライト(前照灯参照)
 ヘッドランプ(前照灯参照)
 ヘッドランプ・クリーナー
 (前照灯クリーナー参照)
 ヘッド・レスト……………53, 55

ホ

保安炎筒
 取り付け場所……………164
 取り扱い……………164
 ホイール・キャップ……………158, 161
 方向指示灯表示灯……………19
 方向指示レバー……………23
 ホンネット……………82

マ

マニュアルトランスミッション……………34, 163, 194

ミ

水たまり走行後……………136
 ミラー
 防眩式ルーム・ミラー……………43
 自動防眩式ルーム・ミラー……………44
 電動フェンダー・ミラー……………46

ム

無線装置……………139

メ

メーター
 速度計……………10
 エンジン回転計……………11
 水温計……………13
 燃料計……………11
 メーター照度コントロール
 (計器照度調整)……………27

ユ

油圧警告灯……………15
 雪道走行(寒冷地での運転, タイヤ・チェーン参照)

ヨ

予熱表示灯の見方……………20, 31

ラ

ライト・スイッチ
 点灯・消灯……………22
 前照灯の上下切り替え……………22
 追い越し合図……………22
 方向指示……………23
 ランパー・サポート(腰部当たり調整)

機械式	52
空気式	52
ランプ(電球)	150, 172
ラジオ	90
ラジエーター(冷却水参照)	
ラジエーター・キャップ	136, 147

リ

リクライニング(背もたれ角度)調整	
フロント・シート	50
リヤ・シート	55
リモート・コントロール・ミラー (電動フエンター・ミラー)	46
リヤ・ウインドウ・ガラス 曇り取り装置	26
手入れ	26, 176
リヤ・ウインドウ・デフォッガ(リヤ・ ウインドウ・ガラス曇り取り装置)	26
リヤ・シート	
リクライニング調整	55
ヘッド・レスト	55
取りはずし方	177
リヤ・スポット・ライト (スポット・ライト)	63
リヤ中央アーム・レスト	54

ル

ルーム・ランプ(室内灯)	63
--------------	----

レ

冷却水	
点検	147
補給	147
レオスタット(計器照度調整)	27

ロ

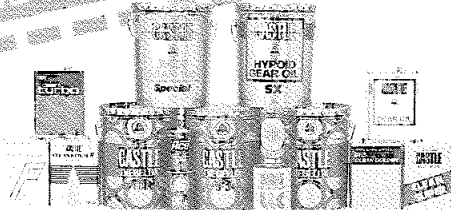
ローブをかける位置	166
-----------	-----

録音	113
----	-----

ワ

ワイパー	
フロント・ガラス用スイッチ	23
リヤ・ガラス用スイッチ	25
ウォッシャー液の点検・補給	147, 184
ワイパー・ゴム交換	176, 184
ワックスかけ	175

トヨタ純正製品



キヤッスル製品

▶エンジン・オイル ※ターボ車には使用できません。

ガ ソ リ ン 車	モーター・オイル・クリーンエクセレント 〔10W-40〕 (SF)
	モーター・オイル・クリーンターボ 〔10W-30〕 (SF)
	モーター・オイル・クリーンロイヤルⅡ 〔7.5W-30※〕 (SE)
	モーター・オイル・クリーンゴールド 〔10W 40〕 (SD)
	モーター・オイル・クリーンスーパー 〔5W-30※, 10W-30, 20W 40〕 (SD)
	モーター・オイル・クリーンカスタム 〔20※, 30, 40〕 (SD)

デ ィ ー ゼ ル 車	ディーゼラックス S 3 〔10W, 20※, 30, 40, 50〕 (CD)
	ディーゼラックス・スペシャル 〔5W-30※, 10W 30〕 (CC)
	ディーゼラックス 〔20※, 30, 40〕 (CC)

- ▶マニュアル・トランスミッション・オイル
MGギヤ・オイル・スペシャル(L型を除く) (GL-3)
MGギヤ・オイル (GL-3)
ギヤ・オイル (GL 3)
- ▶オートマチック・トランスミッション・オイル
オート・フルード・スペシャル

- ▶ディファレンシャル・オイル
ハイポイド・ギヤ・オイルSX (GL 5)
ハイポイド・ギヤ・オイルS (GL-5)
〈独立けん架車, L.S.D.付き車を除く〉
ハイポイド・ギヤ・オイルLSD (GL-5)
〈L.S.D.付き車〉
- ▶ステアリング・ギヤ・オイル
ギヤ・オイル (GL-3)
- ▶パワー・ステアリング・オイル
パワー・ステアリング・フルード
- ▶冷却液(L.L.C.)
ロング・ライフ・クーラント

その他のトヨタ純正製品

- ▶ブレーキおよびクラッチ液
ブレーキ・フルード2400G
- ▶ウィンドウ・ウォッシャー液
ウィンドウ・ウォッシャー・フルード
- ▶水分除去剤
キヤスミック・エース・ウォーターカット〈ガソリン〉
キヤスミック・エース・ウォーターカットD〈ディーゼル〉
- ▶エンジン・オイル添加剤
キヤスミック・エース・モーター・オイル・
アディティブ・クリーン

{ }内は粘度分類表示, ()内はAPI分類表示

▶万が一にそなえて

安心のため自賠責保険(強制保険)のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。

ご加入の際はトヨタ販売店にご相談ください。

▶不幸にして事故が起きたら!

あわてずに次の処置をしましょう。

- ①続発事故の防止
- ②負傷者の救護
- ③警察への届け出
以上道交法第72条
- ④相手方の確認とメモ

(氏名, 住所, 電話番号)

- ⑤ご購入された販売店と保険会社への連絡

無断複製禁止